

Delphi/400を使った取引先管理システム

大崎 貴昭 様

森定興商株式会社
システム運用部 係長



森定興商株式会社
<http://www.morisada.jp/>

森定興商は、パイプや鋼材、建材などの生産材を取り扱う商社として、今年で80周年。日本のインフラ整備や“サステイナブル（持続可能）”な社会のために「変革と挑戦」の姿勢を重視、80余年変わらない誠意で変化に柔軟な組織づくりを目指している。

1. Delphi/400 に巡り合う

当社の商事部門では、新たに顧客と取引するためにまず、「取引稟議書」という Word 文書を作成・印刷して、印鑑決裁にて上層部に回り最終決裁がおりる。

取引開始の決裁がおりたら今度は、「取引先カード」という Excel 文書を作成・印刷する。そして基幹系販売システムで使えるようにするために、「取引先コード申請書」を作成する。「取引稟議書」「取引先カード」で入力した同じ内容を、基幹系端末画面から入力・印刷し、印鑑決裁にて上層部に回る。その後、私が所属するシステム運用部に「取引先コード申請書」が回ってきて、ようやく販売システムの「取引先マスター」に登録が完了し、ユーザーが利用できるようになる。

最終的に販売システムで使えるまでにユーザーは、同じ内容を3回も入力しなければならぬ。

こんな姿を苦々しく見ていたある日、Delphi/400 というものに巡り合う時が

来た。2006年夏のことである。

当社の基幹系システムは、RPG での自社開発を行ってシステム化がほぼ完了していた。そんな基幹系システムだが、グリーンスクリーンの画面は上層部からの受けが悪く「今風の Windows ライクな画面にせよ!」という声が挙がっていた。

そんな折、ある展示会で見かけたのが Delphi/400 で、これなら既存のプログラムにさほど手を加えずに満足いくものがつくれそうだと直感した。早速ミガロ・主催の「Delphi/400 体験セミナー」に申し込んで実際に触れてみて、これならばと確信。上司を説得し即購入に至った。

2. Delphi/400 のトレーニングコース

私は入社以来 RPG 開発一本槍で来ており、Delphi/400 での開発は遅々として進まなかった。そんな中、2007年に我がシステム運用部に新人社員が配属となった。

当初彼女には、基幹系システムの開発

に携わってもらおうつもりでいたが、Delphi/400 を導入したので CL や RPG の開発ではなく、Delphi/400 の開発要員として育てようと思った。

何とか予算を獲得して、彼女を Delphi/400 のトレーニングコースに派遣した。入門トレーニングと基礎トレーニングを終えた彼女は、仕事に意欲的に遊び心も生かしながらアプリ開発を学んでいった。

私とはいうと、既存の RPG アプリを Delphi 化するためのプログラム仕様書をせっせと作っていた。そして Delphi/400 の開発を彼女に託した私はプログラム仕様書を彼女に渡し、必要とあれば RPG でサブプログラムを作った。

そして Delphi/400 を使ったアプリが徐々に増えていった頃である。

「取引先管理を Delphi で一元化する」という話が上司から持ちかけられた。

3. Delphi でレコードのアップデート

取引先管理を Delphi で一元化。冒頭

でも述べたが、当社の取引先管理というのは、書類のために担当者が振り回され無駄な労力を使っている。そこに Delphi/400 を使って「取引稟議書」「取引先カード」「取引先コード申請書」が i5 でデータベースを共用し一元管理できるようになればどれだけユーザーの負担が減ることか。

早速「取引先管理システム」の開発チームを発足し開発着手するわけだが、Delphi の開発ができる者は彼女 1 名しかいない。その彼女は RPG は分らないので、私からのプログラム仕様書待ちとなる。

その他に、一貫して RPG での開発を行ってきた上司に、データベース設計とシステム全体像についてのアドバイスを依頼。

上司の思い描くイメージを私は咀嚼し、Delphi/400 で開発する彼女へそれを伝える橋渡し役を担った。

当初私は、Delphi/400 でインターフェース部分をつくり、パラメータの受け渡しで CL や RPG プログラムを動かすつもりでいた。そのために Delphi/400 と CL/RPG の連携をいかにスムーズに行うか、に頭を悩ませていた。

データベースの更新処理を行う部分で、レコードを呼び出した後にキーフィールドの内容が変更される場合のレコード取得方法をどうするか？ どうにも行き詰まった私は彼女に相談した。

「Delphi でレコードのアップデートができますよ」

RPG のようにキーで CHAIN してということではなく、1 レコードそのものがキーのような Delphi ではキーフィールドの内容が変更されても問題がないのだという。

以後私は一人で抱え込むのを止めた。

4. 取引先管理を Delphi で一元化

メンバーに対し適切な仕事の配分を行うことにより、取引先管理システムは着々と進んでいった。また、当初予定していたサブプログラムが大幅に減った。これは Delphi/400 でできる部分のサブプログラムが不要になったためである。

こうして 2010 年の初夏。我が部内と管理部署および営業部署の上層部でお披

露目を行い、忌憚のない意見を頂戴し修正を行った。

構想から数年を経てようやく、ユーザーの負担を軽減するという第 1 の目標はクリアした。今後ユーザーからの声を反映してまた、メンバーへの仕事の配分を上手く行い、よりよいものに育てていきたい次第である。

M

森定興商株式会社（詳細）

1927 年（昭和 2 年）5 月に「森定雄商店」として鉄鋼販売業をスタート。戦後の 1950 年（昭和 25 年）からは鋼管ならびに一般鋼材の販売を行い、1964 年 3 月に「森定興商株式会社」に商号変更した。

現在は、パイプ各種・鋼材・建材・住宅機器などの卸売を行う商事部門、大径溶接鋼管・異型管・高欄・防護柵・鋼構造物の製造を行う生産部門、住宅分譲・テナントビル・駐車場経営を行う不動産部門から成る。

グループ会社として、「森定不動産（株）」「愛知亜鉛鍍金（株）」「エフエムレーリング（株）」「金子産業（株）」がある。

図5-1 取引先申請(新規入力)

【取引先申請 システム図】

最初の入力画面は4種類 (新規入力、変更入力、申請中変更、申請中印刷)

新規入力 (管理カード、稟議書、取引先コード申請書)

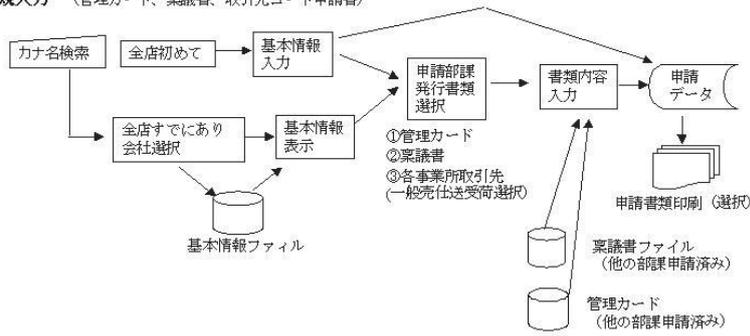


図5-2 取引先申請(変更入力)

変更入力 (管理カード、稟議書、取引先コード申請書)

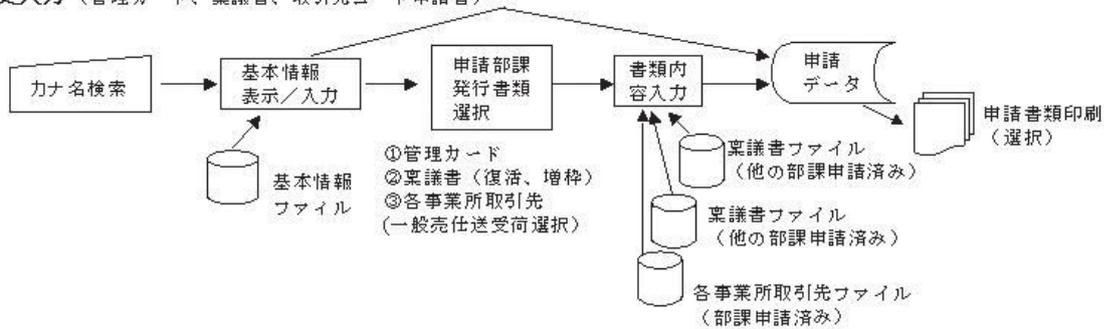


図5-3 取引先申請(申請中変更/削除)

申請中変更/削除

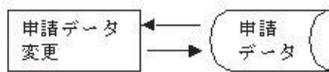


図5-4 取引先申請(申請中印刷)

申請中印刷 (選択 イエローカード、稟議書、事業所別取引先、基本情報)

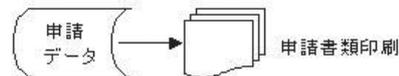


図5-5 取引先登録メニュー

取引先 登録メニュー

- 1.取引先桁登録変更 COH120 プログラム変更
 - 2.個別取引先登録変更 COH130 プログラム変更
- 一本のプログラムへ

